

2025年7月14日

山陽小野田市議会

議長 高松秀樹 様

山陽小野田市日本共産党市議会議員団

団長 中島好人

議員 山田伸幸

「山口県 山陽小野田市議会」名で発信される

個人アカウントの YouTube チャンネルについて

市政発展と議会活動に、努力・邁進されていることに敬意を表します。

さて、

ある政治団体代表者である■■■■氏による、特定議員への「公選法違反」を口実にした追及行動が今春以降様々なメディアを通じて発信され始めました。特定議員の顔写真入りのビラがその議員の自宅周辺に配布され、FBやYoutubeを利用して執拗に取り上げられ、6月議会中に議会出席の議員を動画カメラで追いかけ、その動画がYoutubeにアップされる事態にまでなりました。

本来、刑事罰が相当の「公職選挙法違反」ならば市民として刑事告発が筋であるのに、■■■■氏は公選法を勝手に解釈し、既に「時効」だから自らが「議員への責任を追及する」として、その追及行動の一部始終をYoutubeにアップして市民に知らせ、市民の前に明らかにするといいます。公選法の解釈や判断など一般市民にできるわけもないのに、その市民に何を明らかにするのでしょうか。結局は■■■■氏個人による議員やその家族への「いじめ」にも等しい不法行為といわざるをえません。

地域へのあいさつ回りは、単なる「瀬踏み行為」として選挙前の立候補にあたって誰でも行っている行為であり、公選法でも認められています。それを「公選法違反」行為として鬼の首でも取ったように追及行動を行うなど異常としかいえません。これを違反事件として追及されるならば、誰も立候補などできるはずがありません。

問題は■■■■氏が発信するこのYoutubeのアカウント名が「山口県 山陽小野田市議会」として全世界に公開されていることです。これではまるで山陽小野田市議会が特定議員に対して「公選法」違反を問題にし、責任を追及しているように全世界に発信され、全世界の人々からそのように受け取られ兼ねません。■■■■氏は、市議会には「Youtubeの公式アカウント」を持っていないし、■■■■氏に対して市議会から何の抗議もないから、このアカウント名は自由に使えるのだと強弁しています。

もしこのような事態を放置するならば、山陽小野田市議会の信頼は地に落ち、市議会の名前を大きく傷つけるだけでなく、そのことによって多くの市民が傷つくことにならないでしょうか。もしこのまま市議会が何もしなければ逆に市議会が世界から笑われる存在になってしまいます。

記

- 1、「山口県山陽小野田市議会」名のYoutubeチャンネルがあることをご存じでしたか。
- 2、当該チャンネルについて、何らかの抗議、閉鎖の要求をされる考えはありませんか。
- 3、Youtube管理人に対して、■■■■氏の「山口県山陽小野田市議会」名の個人Youtubeアカウントの削除を求める考えはありませんか。

以上

